

1. 「キャリアカルテ」を「高短キャンパスネット」として拡充

平成21年度、文部科学省学生支援推進事業に本学が採択された『キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築』で開発を進めた「キャリアカルテ」は、平成23年度より「高短キャンパスネット」として学生にとってより良く活用できるよう改良し、精度、活用度を高めている。「キャリアカルテ」は、学生の就職・進学活動を教職員が協働して指導・支援し、卒業後も学生の生涯に亘るキャリアデザインを支えていくツールとしての役割を担っている。

「高短キャンパスネット」は、「キャリアカルテ」に加えて、本学での学生生活を支援するためのWebサイトを利用したネットワークで、学生が学習活動、学生生活、就職活動などに利用できるようになった。このネットワークによって、学生生活に必要なお知らせや資料を入手したり、自分の時間割、出席状況、成績、履修状況等も確認でき、自らを省みることができるようになっている。

「高短キャンパスネット」は、インターネットにアクセスできる環境とPCサイトを閲覧できるWebブラウザ（推奨ブラウザはインターネットエクスプローラ）があれば学内外で利用でき、インターネットにアクセスできるスマートフォンやタブレット端末でも利用が可能である。

本学の就職率は、従来から高い水準にあるが、この厳しい就職状況の中でも高水準を維持し、就職におけるミスマッチを排除し、教職員の指導力向上や指導体制の強化を進めて、組織力アップに努めている。従来、得てして、学生が、教職員によって指導内容が異なると感じたり、複数の教職員から同じ説明を受けたり、学生が自分の状況について、教職員に何度も説明することがあったと思われる。

一方、教職員は、学生の情報が手元にないため、面談学生が過去にどのような指導を受けてきたかを十分に把握できていないことも少なくはなかった。「キャリアカルテ」は、これらの問題を解決するために、情報の共有、指導の一貫など、組織力を高めていく一つのツールとなっている。

教職員は、「キャリアカルテ」に書き込まれた「個々の学生に関する総合的な情報」をもとに、指導した結果をさらに「キャリアカルテ」に書き込むことで、医療現場におけるカルテと同様の効率の良い機能を持つように進めている。

学生は、入学以降様々な学習活動に取り組んでおり、これら学習活動の記録や、その他多くの情報を学生自身が「キャリアカルテ」に書き込み、蓄積した情報を見ることで自らを振り返り、次のステップを踏み出すためのポートフォリオとしての役割を「キャリアカルテ」は担うこととなっている。

また、学生が就職情報を得る入口となるポータルサイトや、三重県の企業、園、施設等、進路希望先の情報が閲覧できる機能や、本学への求人情報が閲覧できる機能などもある。

さらには、学生が就職活動を進める状況や内容等をキャリアカルテに書き込み、その蓄積された情報を、次年度の就職年次生が就職活動に役立てることが出来る機能もある。また、学外から本学のメールアドレスでメールのやり取りができるWebメールシステムも付加している。卒業後も「高短キャンパスネット」を活用して、学生時代と同様のキャリア支援を受けることができる。

平成22年度、「キャリアカルテ」の活用については、キャリアガイダンスや社会体験学習などのキャリア支援科目、就職講座において学生に対して利用を促している。この結果、利用数は徐々に増加し、利用度の高い学生から就職内定の道に繋げている。

今後、さらに学生が利用し、必須アイテムとして、「キャリアカルテ」が学士力向上とキャリア形成力の育成に役立つことを期待している。

【高短キャンパスネット】

ログイン画面



トップ画面(お知らせ)



画面例

履歴書指導

受験報告

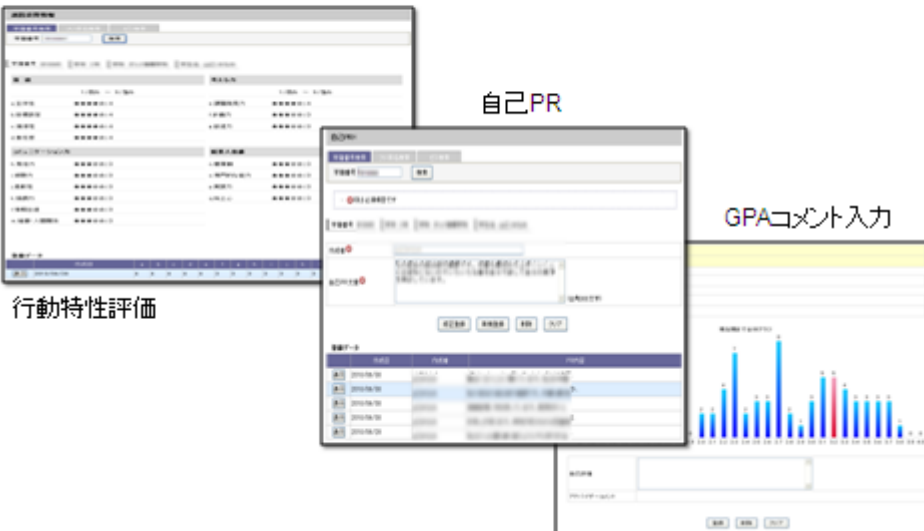


自己分析

画面例

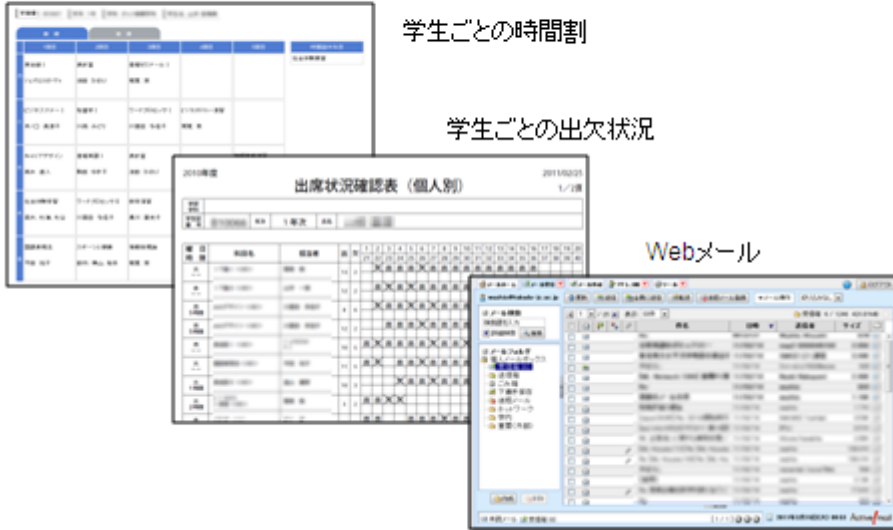
自己PR

GPAコメント入力

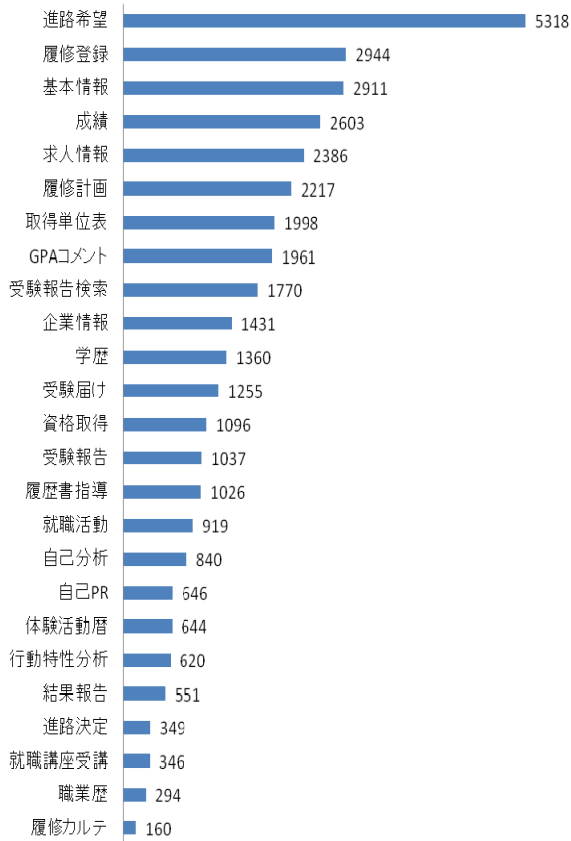


行動特性評価

画面例



学生利用状況 1月～11月末



教職員利用状況 1月～11月末

